

7月24日(金)、「第13回ハートフル・イン・やしおみ」が開催されました。あいにくの雨でしたが、徐々に天候も回復し、当日はたくさん子ども達が来荘しました。今年は、やしおみ荘の他にも法人内の施設を見学して頂きふじ



み更生園・チャーむ・天真庵・虹のかけはしの利用者・職員のご協力の下、限られた時間の中で貴重な体験をして頂きました。対面式を行い、やしおみ荘・ふじみ更生園で生活している方々の様子を見学しました。始めのうちは、たくさん利用者からの歓迎に少し緊張していましたが、利用者か

ら元気に話しかけられるうちに、徐々に笑顔も見えてきました。チャーむでは、障がいを持つ子ども達と交流しました。初対面でお互いに照れている様でしたが、一緒にブロック遊びや手遊びなどをして交流を図っていました。

昼食は天真庵で休憩を兼ねて、障がいのある方の働く姿を見せて頂きました。最後は、虹のかけはしで作業の様子を見学し、シュークリームのクリーム詰めを体験しました。終始笑顔が見られ、自分で詰めたシュークリームは自慢のお土産の一つとなりました。

再びやしおみ荘に戻ると、障がいを持った方々とのふれあいを通し、見学前とは表情が変わったように感じました。子ども達は一日の体験を通して、何か自分に出来る事があるならば進んで手を貸したいと感じたようです。また、とても楽しかったと話してくれており、今後地域の中で障がいを持った方々に出会ったとき、今日一日で学んだこと、感じたことを思い出して欲しいと感じました。今回、ご協力頂いた各施設の皆様、小学校・塾の先生方、参加して下さいましたお子様の保護者の方々、この場をお借りして御礼に代えさせて頂きます。ありがとうございました。

いわき踊り勿来大会参加

レジデンスなこそ 虹のかけはし ワークセンターしおさい 天真庵 メゾン・ド・あたご メゾン・ド・ほりきり

7月25日(土)。ドンドンドドドンワッセのメロディーが町全体に鳴り響く、いわきの夏ならではの行事、いわき踊り勿来大会に参加しました。何日も前から踊りや鳴子、呼子の練習をして気持ちを盛り上げて来た、利用者や職員。本番を前に、さらに落ち着かない様子で踊りの再確認をする姿も見られ、より一層楽しみにしていた気持ちが伺えました。

花火の音と共に、今年も無事にいわき踊り勿来大会が開幕しました。聴き慣れたメロディーに合わせて素晴らしい踊りを披露することができました。衣装にも力を入れており、各事業所それぞれの色が良く出ていました。各々の色を放ち一体となって列を作り、懸命に力を込めて踊る姿は感動的でした。

入賞こそ逃しましたが、今年もいわき踊り勿来大会へ合同で参加できた事は、法人内及び地域との交流という意味で、大変意義のあるものでした。本当にありがとうございました。また来年も、元気に皆で参加できる様、「気合を入れていきたい！」そう思えた行事でした。



本当にありがとうございました。また来年も、元気に皆で参加できる様、「気合を入れていきたい！」そう思えた行事でした。

梅雨を吹き飛ばせ！ 創立30周年夏まつり

8月2日(日)、いよいよ待ちに待った夏まつりの開催です。当日もまだ梅雨明けせず、曇り空の中、とても不安でありましたが、威勢のいい



和太鼓の響きがその不安を吹き飛ばし、開会宣言と共に「創立30周年 夏まつり」がスタートしました。

今年もタヒチアン・ヌイによる情熱的なダンス。深山扇素女会による民謡舞踊。上遠野青年会によるじゃんがら念仏踊り等、次々に行われる催しものに、心も弾みました。夕日が沈むころ提灯に灯りがともされ、金山囃子会の祭囃

子にいつしかやぐらの周りには踊りの輪が広がりました。そして、志摩幸子さんによる歌謡ショー、まつりのクライマックスは、夜空に咲く大輪の花がより一層まつりを盛り上げました。模擬店では、虹のかけはしのパンをはじめ、冷やしうどん・フランクフルト・焼き鳥・ポテトフライが並び、どの模擬店も大盛況ですぐに完売してしまう程でした。最後には、創立30周年の大抽選会を行い、多くの方にご参加頂きました。豪華な景品が当たる毎に会場から大きな歓声が上がりました。今年の夏まつりも興奮冷めやらぬうちに幕を閉じました。

今年は創立30周年記念として「記念タオル」を作って頂いたり、抽選会景品のご協力を頂いたり心より感謝しております。これからも地域の皆様・ボランティアの方々のご協力の下、夏まつりが行えるよう利用者・職員共々頑張りたいと思います。ありがとうございました。